

## システムの名称：S. T. Z. システムⅡ

## 第1章 システムの基本的な考え方

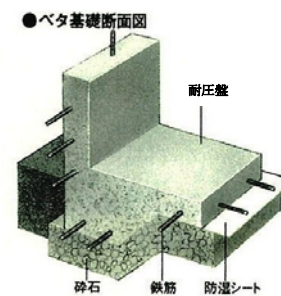
## 1-1 基本的な考え方

- (1) 標準仕様として、柱は構造用集成材、2階床梁・桁は人工乾燥材（KD材）・構造用集成材を使用し、高精度かつ耐久性に優れた住宅を目指す。
- (2) 耐力壁に構造用合板等の耐力面材を外周壁に使用し、現場作業の効率を高め、作業者のレベルによらず、安定均一な構造強度を確保する。また、内部壁には筋交い(45×90)を設置して、十分な耐力壁量を確保する。
- (3) 2階床組は、105×105にプレカットした受材を@455で配置し、根太の替わりとし、根太等の施工を省略する為、作業の効率・安全・建物の構造強度を高める。
- (4) 1, 2階とも構造用合板による先行床を作り、作業の効率・安全性を確保する。
- (5) ホルムアルデヒド等シックハウスの原因となる有害物質の放出が極力少ないF☆☆☆☆の材料を用い、住み始めから快適な健康住宅を提供する。
- (6) 開口部は原則として低放射複層ガラスを使用し、省エネルギー化を図る。

## 第2章 システムの概要

## 2-1 システムの概要

- (1) 基礎は、べた基礎とし、構造強度に余裕を持たせる。
- (2) 基礎パッキン工法仕様とし、基礎の強度を上げ、床下を全周換気とした。
- (3) 基礎の天端調整モルタル時と土台施工時の2度に渡りレベルで不陸をチェックし、土台施工時の施工誤差を後の工事に持ち越さないようにする。
- (4) 土台敷き込み時に1階床下地の構造用合板まで施工し、先行作業床とする。
- (5) 構造材は全てプレカット材を使用。2階床組はKD材、構造用集成材を使用する。



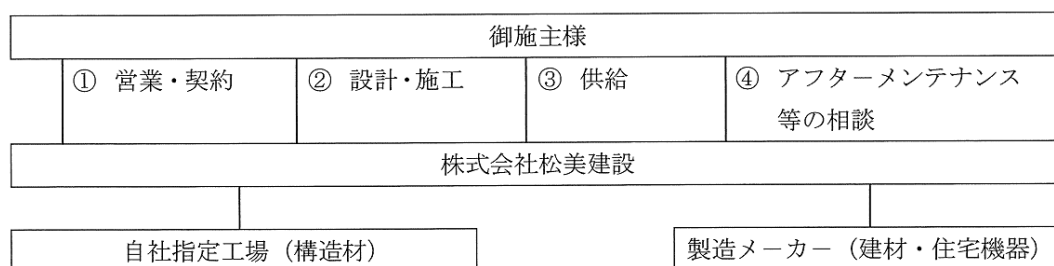
- (6) 2階床組は、105×105にプレカットした受材を@455で配置し、根太の替わりとする。上棟時には、施工が済んでいるので作業の安全性を確保できるとともに床剛性を高める。また、上棟作業中に2階床下地の構造用合板を施工して、作業床を確保する。
- (7) 羽子板ボルトには全てスプリングワッシャーを使用。KD材使用との相乗効果でボルトの緩みに対応する。
- (8) 外周壁は構造用合板を使用して、外周壁の筋かいの使用を極力減らし、構造強度を保つとともに断熱材の施工が確実容易となる。
- (9) 外壁部分に通気層を取り、内外部の温度差で生じる結露を壁内部に起こしにくい構造とする。1階床下・外壁・小屋裏全てに空気の通り道を作って湿気等の排出を図り、結露の発生を抑制する。

## 第3章 供給体制について

### 3.1 供給体制

営業・設計・施工及び維持管理に関する対応は一貫して自社で行う。

- ・営業：上棟時・完成時の現場見学会等を積極的に行う。
- ・設計：CADによる意匠設計・標準化した見積作成フォームを使用し、お客様への迅速なプラン・見積の提示を行う。
- ・資材：構造材は自社指定工場から納品し、均一な品質の材料を確保する。建材・設備機器については各メーカーとの直接取引により流通経路を簡略化して、仕様の標準化を行い大量発注することにより、コストの削減が可能になる。



## 第4章 維持管理について

### 4-1 維持管理補修サービス

引渡し後2年、5年経過時に定期点検を実施する。また、随時、施主より問い合わせがあった場合は、訪問調査及び修繕を行う。

点検部位に修繕が生じた場合の有償・無償の取り扱いについては、品確法・住宅瑕疵担保責任保険・松美建設アフターサービス基準リストを引用する。

### 4-2 保全計画書

維持保全計画書（35年間）は、次の項目により構成する。

- ・一般事項（所在地・構造・面積等）
- ・使用材料（構造材・防水材等）
- ・計画内容（部位別の点検項目・時期・手入れや取替等）
- ・免責事項、費用

### 4-3 その他

住宅瑕疵担保履行法による資力確保の措置として、住宅保証機構㈱の住宅瑕疵担保責任保険を活用する。

地盤保証（20年）として、(社)日本木造住宅産業協会地盤保証制度を利用する。